

高齢者インフルエンザ予防接種を受ける前にお読みください

インフルエンザ予防接種を受けることの義務はなく、本人が希望する場合に予防接種を行うものです。

予防接種の効果や副反応について理解しましょう。気にかかることやわからないことがあれば、医師に質問し、十分に理解してから接種を受けてください。予診票は、医師が予防接種の可否を決める大切な情報であるため、正しく記入してください。

1. インフルエンザとはどんな病気？

A型またはB型インフルエンザウイルスの感染を受けてから約1～3日後に発熱(38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などの症状が突然あらわれ、咳、鼻汁などの風邪と同じような症状が現れます。高齢の方や種々の慢性疾患を持つ方や免疫力の低下している方では、肺炎を伴うなど重症化し、命にかかわる場合もあります。

2. 予防対策

- ①手洗いやうがいをする
- ②人混みを避ける
- ③栄養と休養を十分にとる
- ④室温と湿度を適度に保つ
- ⑤咳やくしゃみは人にかからないようにする(咳エチケット)

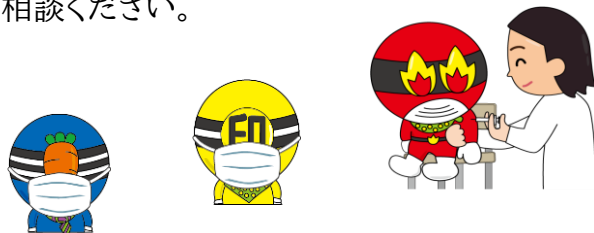
3. ワクチンの効果

ワクチンには感染を完全に防ぐ効果はありませんが、発症を予防したり、発症しても重症化(肺炎や脳症などの重い合併症が現れること)を防いだりする効果があります。ワクチンは毎年、流行の予測に基づき、4種類(A型2種類、B型2種類)のインフルエンザウイルスに対応するように国が決定しています。

4. 接種時期

インフルエンザの流行は12月から3月が中心です。ワクチンが十分な効果を維持する期間は、接種後約2週間から5か月とされています。より有効性を高めるには、10月から12月中旬までの間にワクチンを接種することが望ましいといわれています。

※インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時接種を行うことができますが、同時接種にあたっては主治医とよくご相談ください。



(裏面もご覧ください)

5. 予防接種を受けることができない方

- ①接種当日、明らかな発熱がある方(一般的に、体温が37.5℃以上の場合)
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ③インフルエンザワクチンに含まれる成分(鶏卵等)によって、アナフィラキシーショックを起こしたことが明らかな方 ※1 通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましん等を伴う重いアレルギー反応のこと
- ④その他、医師により不適当な状態と判断された方

6. 接種を受ける時に注意を要する方

- ①心臓、腎臓、肝臓、血液、発育障害など基礎疾患がある方
- ②過去にけいれんの既往がある方
- ③過去に免疫不全の診断を受けている方及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- ④間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器系疾患がある方
- ⑤インフルエンザワクチンに含まれる成分によって、アレルギーを呈するおそれがある方

7. 接種後の注意

- ①接種後24時間は副反応の出現に注意してください。(特に接種後30分以内)
- ②接種後1時間を経過すれば、入浴は問題ありませんが、接種部位をこすらないようにしましょう。
- ③過度な運動、大量の飲酒は、接種後24時間は避けましょう。

8. 予防接種の副反応

接種後、接種部位の発赤、痛み、腫れ、全身症状として発熱、悪寒、頭痛、倦怠感などの副反応が出ることがあります。通常2～3日のうちに治りますが、高熱やけいれんなどの異常が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

9. 予防接種健康被害救済制度について

予防接種を受けた後、極めてまれに脳炎や神経障害など重い健康被害が生じることがあります。その症状が定期予防接種によるものと厚生労働省が認定した場合、予防接種法に基づく健康被害救済制度の対象となります。

申請に必要な手続等については、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 市川三郷町役場いきいき健康課

電話:0556-32-2114

FAX:0556-32-2887